

Ⅲ 調査結果

1 空間放射線量

空間ガンマ線測定装置による線量率及び蛍光ガラス線量計による積算線量の測定結果を評価した。

(1) 線量率

ア 短期評価 (1 時間平均値)

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺に設置した 14 箇所のモニタリングステーションにおける測定結果を表 4 に示す。

測定の結果、旧監視センター (第 2 四半期)、新神子 (第 1～第 3 四半期) 及び小笠支所 (第 2 四半期) で平常の変動幅の下限を下回ったときがあったが、それ以外は全て平常の変動幅の範囲内であった。

【評価結果】

旧監視センター及び新神子で平常の変動幅の下限を下回った原因は、測定装置の修繕※による影響に自然変動 (自然放射性核種の変動) が加わったためと考えられる。

また、小笠支所で平常の変動幅の下限を下回った原因は、周辺環境の変化や測定系等の異常は認められないことから、自然変動によるものと考えられる。

※ エネルギー分解能が悪化したため、平成 28 年 1 月に検出器の取替えを行った。

表 4 線量率 (短期評価) の測定結果

単位: nGy/h

測定地点名	測定値 ¹⁾		平常の変動幅	震災後の変動幅
	最小値	最大値		
御前崎市 白砂	37	68	37～95	37～89
中町	53	80	47～94	52～103 ²⁾
桜ヶ池公民館	45	76	40～97	45～104 ²⁾
上ノ原	44	78	40～98	44～102 ²⁾
佐倉三区	38	71	37～91	37～96 ²⁾
平場	36	68	36～96	36～88
白羽小学校	43	78	40～94	44～92
牧之原市 地頭方小学校	41	68	37～90	41～100 ²⁾
御前崎市 旧監視センター	<u>39</u>	66	40～95	40～86
草笛	41	75	40～97	40～104 (96) ³⁾
新神子	<u>38</u>	69	40～105	40～94
浜岡北小学校	41	74	40～94	40～99 ²⁾
掛川市 大東支所	39	76	38～93	39～94 ²⁾
菊川市 小笠支所	<u>44</u>	74	45～95	45～106 ²⁾

注 1) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

注 2) 上限値は東電事故の影響ではなく、自然変動によるものと評価している。(調査結果書第 164 号)

注 3) () 内は、X 線を用いた非破壊検査が実施された時間帯 (平成 27 年 2 月 18 日 11 時～17 時、2 月 19 日 9 時～12 時、3 月 23 日 13 時～18 時、3 月 24 日 8 時～18 時) の値を除いた場合の測定値。

イ 長期評価（3ヶ月間平均値）

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺に設置した14箇所のモニタリングステーションにおける測定結果を表5に示す。

測定の結果、平場（第2四半期）、旧監視センター（第2四半期）及び新神子（第1～第4四半期）で平常の変動幅の下限を下回ったが、それ以外は全て平常の変動幅の範囲内であった。

【評価結果】

平場で平常の変動幅の下限を下回った原因は、周辺環境の変化や測定系等に異常はなく、自然変動によるものと考えられる。

また、旧監視センター及び新神子で平常の変動幅の下限を下回った原因は、測定装置の修繕*による影響に自然変動が加わったためと考えられる。

※ エネルギー分解能が悪化したため、平成28年1月に検出器の取替えを行った。

表5 線量率（長期評価）の測定結果

単位：nGy/h

地 点 名	測 定 値 ¹⁾				平常の変動幅	震災後の変動幅
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
御前崎市 白 砂	39	39	40	40	39～43	40～46
中 町	57	57	57	56	51～57	55～57
桜ヶ池公民館	48	47	48	48	42～49	47～50
上ノ原	46	46	47	47	42～48	46～49
佐倉三区	40	39	40	40	39～41	39～42
平 場	39	<u>38</u>	39	39	39～44	39～45
白羽小学校	47	46	47	46	43～48	47～49
牧之原市 地頭方小学校	43	43	44	44	39～44	43～46
御前崎市 旧監視センター	42	<u>41</u>	42	42	42～50	42～48
草 笛	43	43	44	44	41～52	41～50
新神子	<u>41</u>	<u>41</u>	<u>41</u>	<u>41</u>	42～50	42～49
浜岡北小学校	43	43	44	44	43～49	43～46
掛川市 大東支所	41	41	42	42	41～47	41～47
菊川市 小笠支所	48	47	48	48	47～53	47～51

注1) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

(2) 積算線量

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺 57 地点と対照地点の 4 地点における積算線量の測定結果を表 6 に示す。

測定の結果、薄原前（第 3 四半期）及び芹沢（第 3 及び第 4 四半期）で平常の変動幅の上限を超過した。

【評価結果】

周辺環境に変化はなく、浜岡原子力発電所内モニタの測定結果や測定系に異常は認められなかったことから、平常の変動幅の上限を超過した原因は自然変動と考えられる。

表 6 積算線量の測定結果

単位：mGy

ポイント 番号	測定地点		測定値（90 日換算値） ^{2) 3)}								平常の 変動幅	震災後の 変動幅	年間相当値 (365 日換算値)	
	地点名 ¹⁾	4 月～6 月		7 月～9 月		10 月～12 月		1 月～3 月						
1	御前崎市	西上ノ原	0.13		0.13		0.13		0.13		0.12～0.14	0.13～0.14	0.54	
2		上ノ原岩根	0.15		0.15		0.15		0.15		0.14～0.16	0.14～0.16	0.61	
3		玄 保	0.13		0.14		0.14		0.14		0.13～0.14	0.13～0.15	0.56	
4		洗 井	0.13		0.13		0.13		0.13		0.12～0.13	0.13～0.14	0.53	
17		上比木	0.15		0.15		0.16		0.15		0.14～0.16	0.15～0.16	0.62	
18		三 間	0.14		0.14		0.15		0.15		0.13～0.15	0.14～0.15	0.58	
19		名 波*	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14～0.16	0.15～0.16	0.60	0.61
21		宮 内	0.14		0.15		0.15		0.15		0.14～0.15	0.14～0.16	0.60	
22		中 田	0.16		0.16		0.17		0.17		0.15～0.17	0.15～0.17	0.66	
23		旧朝比奈小学校*	0.15	0.14	0.14	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14～0.15	0.14～0.16	0.59	0.59
24		下朝比奈	0.14		0.15		0.15		0.15		0.13～0.15	0.13～0.15	0.59	
25		木ヶ谷	0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.13～0.15	0.58	
26		蒲 池	0.13		0.14		0.14		0.14		0.13～0.14	0.13～0.14	0.55	
27		塩原新田	0.14		0.15		0.15		0.15		0.13～0.15	0.14～0.16	0.59	
28		合戸東前	0.14		0.15		0.15		0.15		0.14～0.15	0.14～0.15	0.59	
29		七ツ山	0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.14	0.13～0.15	0.57	
30		落 合	0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.13～0.16	0.56	
31		八千代	0.13		0.14		0.14		0.14		0.13～0.14	0.13～0.15	0.55	
32		し尿処理場	0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.13～0.15	0.56	
33		西佐倉	0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.14～0.15	0.58	
34		桜ヶ池 *	0.14	0.13	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.12～0.14	0.13～0.15	0.55	0.55
35		中 町 *	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.14～0.16	0.14～0.17	0.64	0.64
36		桜ヶ池公民館	0.14		0.15		0.15		0.14		0.13～0.15	0.14～0.15	0.59	
58		第 6 分団 *	0.15	0.15	0.14	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14～0.15	0.14～0.16	0.59	0.60
38		上ノ原	0.13		0.13		0.13		0.13		0.12～0.14	0.12～0.14	0.53	
39		上ノ原平場前	0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.13～0.15	0.56	
40		合戸西前	0.13		0.13		0.13		0.13		0.12～0.15	0.13～0.14	0.53	
41		合戸池田	0.14		0.15		0.15		0.15		0.13～0.15	0.14～0.15	0.59	
42		門屋石田*	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.13～0.15	0.15～0.16	0.61	0.60
43		中 尾	0.17		0.17		0.17		0.17		0.15～0.18	0.16～0.18	0.68	
44		白 砂	0.13		0.13		0.13		0.13		0.12～0.18	0.13～0.14	0.53	

注1) 「*」が付記された地点は、県及び中電の両機関が測定を実施し、それ以外の地点は中電が測定を実施した。

注2) 県及び中電の両機関が測定した地点は、左欄に県、右欄に中電の測定値を記載した。

注3) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

ポイント 番号	測定地点		測定値（90 日換算値） ^{2) 3)}								平常の 変動幅	震災後の 変動幅	年間相当値 (366 日換算値)	
	地点名 ¹⁾													
		4 月～6 月		7 月～9 月		10 月～12 月		1 月～3 月						
45	御前崎市 平 場		0.14		0.14		0.14		0.14		0.12～0.15	0.14～0.15	0.57	
46	海 山*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14	0.14	0.13～0.15	0.14～0.15	0.58	0.58
47	本町公民館*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.12～0.15	0.13～0.15	0.57	0.57
48	有ヶ谷		0.15		0.15		0.15		0.15		0.13～0.15	0.14～0.15	0.59	
49	朝比奈原公民館*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.12～0.14	0.13～0.15	0.57	0.57
5	借 宿*		0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14	0.13	0.14	0.13～0.14	0.13～0.15	0.54	0.55
6	中 西		0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.14	0.13～0.15	0.56	
7	白羽小学校		0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.13～0.15	0.56	
8	薄原前*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14	0.13～0.14	0.14～0.15	0.57	0.58
9	広 沢		0.12		0.13		0.13		0.13		0.12～0.13	0.12～0.14	0.50	
10	芹 沢		0.14		0.14		0.15		0.15		0.13～0.14	0.13～0.15	0.58	
11	西 山*		0.14	0.14	0.14	0.15	0.14	0.15	0.14	0.15	0.13～0.15	0.14～0.16	0.58	0.59
12	遠 代		0.13		0.13		0.13		0.13		0.12～0.14	0.12～0.14	0.53	
13	牧之原市 堀野新田*		0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.12～0.13	0.12～0.14	0.51	0.52
14	地頭方天白		0.13		0.13		0.13		0.13		0.12～0.14	0.12～0.14	0.52	
15	地頭方小学校*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.14	0.15	0.13～0.15	0.14～0.16	0.57	0.58
16	旧地頭方中学校		0.15		0.15		0.15		0.15		0.14～0.15	0.14～0.16	0.61	
20	笠 名		0.15		0.15		0.15		0.15		0.14～0.16	0.14～0.16	0.61	
50	菅山保育園		0.14		0.13		0.13		0.14		0.13～0.15	0.14～0.16	0.55	
51	鬼女新田公民館*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.12～0.14	0.13～0.15	0.57	0.57
52	相良庁舎*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14	0.14	0.13～0.15	0.13～0.15	0.58	0.57
53	掛 川市 千浜小学校*		0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14～0.15	0.15～0.16	0.61	0.62
54	大東支所		0.15		0.15		0.15		0.15		0.13～0.15	0.14～0.15	0.60	
55	菊 川市 南山駐在所*		0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.13～0.14	0.13～0.15	0.56	0.56
56	小笠支所		0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.14～0.15	0.58	
57	東小学校		0.14		0.14		0.14		0.14		0.13～0.15	0.14～0.15	0.57	
対 照 地 点	下 田市 中*		0.13	0.13	0.12	0.13	0.12	0.13	0.13	0.13	0.12～0.13	0.12～0.14	0.50	0.52
	沼 津市 高島本町*		0.12	0.12	0.12	0.12	0.11	0.12	0.12	0.12	0.11～0.12	0.11～0.13	0.47	0.48
	静 岡市 北安東*		0.16	0.16	0.16	0.16	0.15	0.16	0.16	0.16	0.15～0.17	0.15～0.17	0.64	0.65
	浜 松市 下池川町*		0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.13	0.12	0.12	0.12～0.13	0.12～0.13	0.50	0.50

注1) 「*」が付記された地点は、県及び中電の両機関が測定を実施し、それ以外の地点は中電が測定を実施した。

注2) 県及び中電の両機関が測定した地点は、左欄に県、右欄に中電の測定値を記載した。

注3) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

2 環境試料中の放射能

全アルファ・全ベータ放射能及び核種分析の測定結果を評価した。

なお、測定結果に記載の「検出されず」と「検出限界未満」については、解説資料において詳細を説明している。

(1) 全アルファ・全ベータ放射能

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺の14箇所のモニタリングステーションのうち、5箇所に設置したダストモニタによる測定結果を表7に示す。

測定の結果、第1及び第2四半期に白羽小学校で集塵終了6時間後の全ベータ放射能が平常の変動幅の上限を超過したときがあったが、それ以外は全て平常の変動幅の範囲内であった。

【評価結果】

白羽小学校で平常の変動幅の上限を超過した原因は、測定装置の更新※による影響に自然変動（自然放射性核種の変動）が加わったためと考えられる。

※ 平成28年3月に測定装置全体の更新を行った。

表7 全アルファ・全ベータ放射能（浮遊塵）の測定結果

① 集塵中の全アルファ・全ベータ放射能比

単位：－

地 点 名	測 定 値		平常の変動幅	震災後の変動幅
	最小値	最大値		
御前崎市 白 砂	* ¹⁾	4.4	*～9.2	*～17
中 町	*	3.1	*～9.1	*～7.5
平 場	*	3.4	*～7.3	*～21
白羽小学校	*	3.3	*～5.6	*～6.8
牧之原市 地頭方小学校	*	3.8	*～7.2	*～7.3

注1) 「*」は、「LTD：検出限界未満」を示す。

② 集塵中の全ベータ放射能

単位：Bq/m³

地 点 名	測 定 値		平常の変動幅	震災後の変動幅
	最小値	最大値		
御前崎市 白 砂	* ¹⁾	10	*～22	*～19
中 町	*	9.2	*～20	*～8.6
平 場	*	8.9	*～16	*～16
白羽小学校	*	7.3	*～16	*～7.9
牧之原市 地頭方小学校	*	8.2	*～18	*～7.3

注1) 「*」は、「LTD：検出限界未満」を示す。

③ 集塵終了6時間後の全ベータ放射能

単位：Bq/m³

地 点 名	測 定 値 ¹⁾		平常の変動幅	震災後の変動幅
	最小値	最大値		
御前崎市 白 砂	* ²⁾	0.28	*～0.40	*～5.6
中 町	*	0.25	*～0.37	*～3.9
平 場	*	0.22	*～0.28	*～0.77
白羽小学校	*	0.25	*～0.15	*～3.9
牧之原市 地頭方小学校	*	0.26	*～0.27	*～4.2

注1) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

注2) 「*」は、「LTD：検出限界未満」を示す。

(2) 核種分析

ア 機器分析（ガンマ線放出核種）

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺 77 地点及び松葉の対照 1 地点について、機器分析による測定結果を表 8－1～8－3 に示す。

測定の結果、以下の試料でセシウム－134、セシウム－137 の両方又はどちらか一方が平常の変動幅の上限を超過した。

① 陸上試料（16/42 地点）

浮遊塵（1/5 地点）、降下物（1/1 地点）、土壌（3/3 地点）、キャベツ（1/1 地点）、玉ねぎ（1/3 地点）、みかん（1/2 地点）、茶葉（5/5 地点）、原乳（1/2 地点）、松葉（2/3 地点）

② 海洋試料（4/35 地点）

しらす（1/1 地点）、ひらめ（1/1 地点）、いせえび（1/1 地点）、たこ（1/1 地点）

【評価結果】

浜岡原子力発電所内モニタの測定結果や前処理、測定などに異常は認められないことから、平常の変動幅の上限を超過した原因は、セシウム－134 については東電事故の影響、セシウム－137 については過去の核爆発実験等の影響に東電事故の影響が加わったことによるものと考えられる。

表 8 - 1 機器分析（ガンマ線放出核種）の測定結果

試料名	地点数	測定値 ¹⁾	平常の変動幅	震災後の変動幅	単位
浮遊塵	5	^{134}Cs : * ²⁾	*	* ~ 7.78	mBq/m ³
		^{137}Cs : * ~ 0.038	*	* ~ 8.21	
		その他 ³⁾ : *	*	*	
降下物	1	^{134}Cs : * ~ 0.068	*	* ~ 617	Bq/m ²
		^{137}Cs : * ~ 0.18	* ~ 0.12	0.061 ~ 611	
		その他 : *	*	*	
陸水	上 水	^{134}Cs : *	*	*	mBq/L
		^{137}Cs : *	*	*	
		その他 : *	*	*	
	井 水	^{134}Cs : *	*	*	
		^{137}Cs : *	*	*	
		その他 : *	*	*	
	河川水	^{134}Cs : *	*	* ~ 2.3	
		^{137}Cs : *	*	* ~ 2.8	
		その他 : *	*	*	
土 壤	3	^{134}Cs : * ~ 2.8	*	* ~ 21.6	Bq/kg 乾土
		^{137}Cs : 4.0 ~ 13.9	1.7 ~ 10.0	3.8 ~ 28.4	
		その他 : *	*	*	
農畜産物	玄 米	^{134}Cs : *	*	* ~ 0.076	Bq/kg 生
		^{137}Cs : *	*	* ~ 0.079	
		その他 : *	*	*	
	すいか	^{134}Cs : *	*	* ~ 0.19	
		^{137}Cs : *	* ~ 0.015	* ~ 0.190	
		その他 : *	*	*	
	キャベツ	^{134}Cs : *	*	* ~ 0.056	
		^{137}Cs : * ~ 0.022	*	* ~ 0.065	
		その他 : *	*	*	
	白 菜	^{134}Cs : *	*	* ~ 0.036	
		^{137}Cs : * ~ 0.011	* ~ 0.024	* ~ 0.055	
		その他 : *	*	*	
	玉ねぎ	^{134}Cs : *	*	* ~ 0.032	
		^{137}Cs : * ~ 0.011	*	* ~ 0.049	
		その他 : *	*	*	
	かんしょ	^{134}Cs : *	*	* ~ 0.13	
		^{137}Cs : 0.046 ~ 0.058	* ~ 0.092	0.048 ~ 0.241	
		その他 : *	*	*	

注1) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

注2) 「*」は「ND：検出されず」を示す。

注3) 「その他」は、ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137 及びカリウム-40 以外の対象核種で、詳細は環境放射能測定法に記載している。

表 8－2 機器分析（ガンマ線放出核種）の測定結果

試料名		地点数	測定値 ¹⁾	平常の変動幅	震災後の変動幅	単位
農畜産物	大 根	3	¹³⁴ Cs : * ²⁾	＊	＊～0.021	Bq/kg 生
			¹³⁷ Cs : *～0.024	＊～0.029	＊～0.051	
			¹³¹ I : *	＊	＊	
			その他 ³⁾ : *	＊	＊	
	みかん	2	¹³⁴ Cs : *～0.012	＊	＊～0.96	
			¹³⁷ Cs : 0.015～0.050	＊～0.019	0.016～1.14	
			その他 : *	＊	＊	
	茶 葉	5	¹³⁴ Cs : *～0.063	＊	＊～44.6	
			¹³⁷ Cs : 0.102～0.32	＊～0.080	0.168～45.5	
			その他 : *	＊	＊	
	原 乳	2	¹³⁴ Cs : *	＊	＊～0.43	
			¹³⁷ Cs : *～0.033	＊～0.029	＊～0.45	
¹³¹ I : *			＊	＊～0.14	Bq/L	
その他 : *			＊	＊	Bq/kg 生	
指標生物	松 葉	3	¹³⁴ Cs : *～0.060	＊	＊～41.1	Bq/kg 生
			¹³⁷ Cs : 0.080～0.37	＊～0.22	0.064～44.3	
			¹³¹ I : *	＊	＊	
			その他 : *	＊	＊	
	松 葉 (対照地点)	1	¹³⁴ Cs : *	＊	＊～60.9	
			¹³⁷ Cs : *～0.092	＊～0.10	0.045～69.4	
			¹³¹ I : *	＊	＊	
			その他 : *	＊	＊	
海 水	10	¹³⁴ Cs : *	＊	＊～4.5	mBq/L	
		¹³⁷ Cs : *～4.1	＊～4.1	＊～6.1		
		その他 : *	＊	＊		
海底土 ⁴⁾	9	¹³⁴ Cs : *	＊	＊～0.47	Bq/kg 乾土	
		¹³⁷ Cs : *～0.75	＊～1.2	＊～1.1		
		その他 : *	＊	＊		
海底土 ⁵⁾	1	¹³⁴ Cs : *	＊	＊～1.6		
		¹³⁷ Cs : 1.3～2.6	＊～2.7	1.5～3.1		
		その他 : *	＊	＊		

注1) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

注2) 「*」は「ND：検出されず」を示す。

注3) 「その他」は、ヨウ素-131、セシウム-134、セシウム-137 及びカリウム-40 以外の対象核種で、詳細は環境放射能測定法に記載している。

注4) 御前崎港以外の採取地点。平常の変動幅は、浅根漁場、1,2号機放水口付近、取水口付近及び3号機及び4号機放水口付近（平成13～22年度）、5号機放水口付近（平成15～22年度）並びに菊川河口、高松沖、尾高漁場及び中根礁（平成16～22年度）の測定値から定めた。

注5) 採取地点は御前崎港（内海）。平常の変動幅は、御前崎港（平成16～22年度）の測定値から定めており、他の採取地点（外海）と環境が異なるため、平常の変動幅を区別して定めている。

表 8－3 機器分析（ガンマ線放出核種）の測定結果

試料名	地点数	測定値 ¹⁾	平常の変動幅	震災後の変動幅	単位
海 産 生 物	しらす	¹³⁴ Cs : *2)	*	*～0.21	Bq/kg 生
		¹³⁷ Cs : 0.040～0.13	*～0.071	*～0.21	
		その他 ³⁾ : *	*	*	
	ひらめ	¹³⁴ Cs : *	*	*～0.44	
		¹³⁷ Cs : 0.17	0.10～0.13	0.15～0.68	
		その他 : *	*	*	
	あ じ	¹³⁴ Cs : *	*	*～0.21	
		¹³⁷ Cs : 0.16～0.23	0.10～0.23	0.11～0.39	
		その他 : *	*	*	
	かさご	¹³⁴ Cs : *	*	*～0.25	
		¹³⁷ Cs : 0.13～0.14	0.072～0.14	0.13～0.36	
		その他 : *	*	*	
	さざえ	¹³⁴ Cs : *	*	*～0.11	
		¹³⁷ Cs : *	*	*～0.17	
		その他 : *	*	*	
	はまぐり	¹³⁴ Cs : —	*	*～0.031	
		¹³⁷ Cs : —	*	*～0.070	
		その他 : —	*	*	
	むらさきいがい	¹³⁴ Cs : *	*	*～0.35	
		¹³⁷ Cs : *	*	*～0.46	
		その他 : *	*	*	
	か き	¹³⁴ Cs : *	*	*～0.15	
		¹³⁷ Cs : *	*～0.034	*～0.15	
		その他 : *	*	*	
	いせえび	¹³⁴ Cs : *～0.026	*	*～0.49	
		¹³⁷ Cs : 0.081～0.10	0.047～0.098	0.070～0.65	
		その他 : *	*	*	
	た こ	¹³⁴ Cs : *	*	*～0.11	
		¹³⁷ Cs : *～0.030	*	*～0.14	
		その他 : *	*	*	
	なまこ	¹³⁴ Cs : *	*	*	
		¹³⁷ Cs : *	*	*	
		その他 : *	*	*	
	わかめ	¹³⁴ Cs : *	*	*	
		¹³⁷ Cs : *	*	*～0.045	
		¹³¹ I : *	*	*	
		その他 : *	*	*	
特定 試料	海岸砂	¹³⁴ Cs : *	*	*	Bq/kg 乾土
		¹³⁷ Cs : *	*	*～0.94	
		その他 : *	*	*	

注1) 下線は平常の変動幅を外れた値であることを示す。

注2) 「*」は「ND：検出されず」を示す。

注3) 「その他」は、ヨウ素－131、セシウム－134、セシウム－137及びカリウム－40以外の対象核種で、詳細は環境放射能測定法に記載している。

イ 放射化学分析（ストロンチウム－90）

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺 15 地点について、放射化学分析による測定結果を表 9 に示す。

測定の結果、全ての地点で平常の変動幅の範囲内であった。

表 9 放射化学分析（ストロンチウム－90）の測定結果

単位：Bq/kg 生

試料名		地点数	測定値	平常の変動幅	震災後の変動幅
農 畜 産 物	玄 米	2	* ¹⁾	*	*
	キャベツ	1	*～0.011	*～0.012	*
	大 根	3	*～0.020	*～0.083	*～0.036
	茶 葉	3	*～0.049	*～0.51	*～0.075
	原 乳	1	*	*～0.022	*～0.016
海 産 生 物	しらす	1	*	*	*
	かさご	1	*	*	*
	さざえ	1	*	*	*
	いせえび	1	*	*	*
	わかめ	1	*	*	*

注1) 「*」は「ND:検出されず」を示す。

ウ トリチウム分析

① 大気中水分

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺 4 地点及び対照 1 地点について、トリチウム分析による測定結果を表 1 0 に示す。

測定の結果、全ての地点で平常の変動幅の範囲内であった。

表 1 0 大気中水分トリチウムの測定結果 単位：捕集水は Bq/L、空気は Bq/m³

地 点 名	地点数	試料名	測 定 値	平常の変動幅	震災後の変動幅
浜岡原子力 発電所周辺	4	捕集水 ¹⁾	* ²⁾ ～0.90	*～2.1	*～1.4
		空 気 ³⁾	*～0.011	*～0.017	*～0.019
静岡市 ⁴⁾	1	捕集水	*～0.53	*～1.6	*～2.0
		空 気	*～0.0070	*～0.011	*～0.028

注 1) 大気中の水分に含まれるトリチウムの測定結果である。

注 2) 「*」は「ND：検出されず」を示す。

注 3) 空気中トリチウム濃度は、捕集水中トリチウム濃度から求めたものである。

注 4) 対照地点であり、測定は県が実施した。

② 陸水及び海水

【測定結果】

浜岡原子力発電所周辺 6 地点の陸水及び海水について、トリチウム分析による測定結果を表 1 1 に示す。

測定の結果、全ての地点で平常の変動幅の範囲内であった。

表 1 1 トリチウムの測定結果 単位：Bq/L

試 料 名		地点数	測 定 値	平常の変動幅	震災後の変動幅
陸 水	上 水	1	* ¹⁾ ～0.80	*～0.91	*～0.82
海 水		5	*～0.71	*～0.88	*～0.81

注 1) 「*」は「ND：検出されず」を示す。